



令和7年7月22日
国土交通省関東地方整備局
監査官室

令和7年度 関東地方整備局入札監視委員会の開催結果について (総会及び第一部会 第1回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会は、令和7年度総会及び第一部会第1回定例会議を令和7年6月11日に開催しました。

総会においては、委員長の選任及び委員長が各部会の所属委員を指名しました。

その後、開催した第一部会第1回定例会議では、令和6年10月1日から令和7年3月31日までの間に契約した「工事」、「建設コンサルタント業務等」、「役務の提供等及び物品の製造等」に関して、入札・契約手続きの運用状況等の報告及び当該期間に契約したものの中から委員が抽出した10件の案件について入札・契約の過程にかかる審議を行いました。

総会及び第一部会第1回定例会議の審議概要については、別紙のとおりです。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局

電話：048-601-3151 (代表) FAX：048-600-1910

入札契約監査官 掛巢 (内線：2220) 技術開発調整官 宮坂 (内線：3113)

契約管理官 佐野 (内線：2222) 主任監査官 田中 (内線：2114)

令和 7 年度
関東地方整備局 入札監視委員会総会 審議概要

開催日及び場所	令和 7 年 6 月 1 1 日（水）関東地方整備局 【We b 会議等】	
委 員	石坂 元一（中央大学 教授） 奥井 義昭（埼玉大学大学院 教授） 北村 聡子（半蔵門総合法律事務所 弁護士） 木村 和也（慶應義塾大学法科大学院 教授 兼 弁護士） 古賀 紀江（関東学院大学 教授） 伊永 大輔（東北大学大学院 教授） 鈴木 彩子（早稲田大学 准教授） 土屋 志穂（拓殖大学 准教授）【欠席】 渡邊 健治（東京大学大学院 教授）【欠席】	
審 議 内 容	総会において、伊永 大輔氏を委員長に、土屋 志穂氏を委員長代理に選任。 また、各委員の部会所属を以下のとおり決定した。 【第一部会】 奥井 義昭（埼玉大学大学院 教授） 北村 聡子（半蔵門総合法律事務所 弁護士） 木村 和也（慶應義塾大学法科大学院 教授 兼 弁護士） 古賀 紀江（関東学院大学 教授） 伊永 大輔（東北大学大学院 教授） 鈴木 彩子（早稲田大学 准教授） 【第二部会】 石坂 元一（中央大学 教授） 土屋 志穂（拓殖大学 准教授） 渡邊 健治（東京大学大学院 教授）	
委員からの意見・質問、それに対する説明・回答	意見・質問	説 明 ・ 回 答
	特になし	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	

○問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会事務局

さいたま市中央区新都心 2 番地 1

さいたま新都心合同庁舎 2 号館

電話 0 4 8 - 6 0 1 - 3 1 5 1（代）

入札契約監査官 掛巢 十志充（内線 2 2 2 0）

契 約 管 理 官 佐野 幸雄（内線 2 2 2 2）

技術開発調整官 宮坂 広志（内線 3 1 1 3）

主 任 監 査 官 田中 聡（内線 2 1 1 4）

横浜市中区北仲通 5 - 5 7

横浜第 2 合同庁舎

電話 0 4 5 - 2 1 1 - 7 4 1 3（代）

総 括 調 整 官 成澤 亨（内線 5 7 0 4）

契 約 管 理 官 黒木 真也（内線 5 8 8 0）

経 理 調 達 課 長 池田 喜陽（内線 5 8 7 0）

品 質 確 保 室 長 鈴木 友二（内線 5 7 9 7）

令和7年度
関東地方整備局 入札監視委員会第一部会第1回定例会議 審議概要

開催日及び場所		令和7年6月11日（水）関東地方整備局 【Web会議等】	
委 員		奥井 義昭（埼玉大学大学院 教授） 北村 聡子（半蔵門総合法律事務所 弁護士） 木村 和也（慶應義塾大学法科大学院 教授 兼 弁護士） 古賀 紀江（関東学院大学 教授） 伊永 大輔（東北大学大学院 教授） 鈴木 彩子（早稲田大学 准教授）	
審議対象期間		令和6年10月1日 ～ 令和7年3月31日	
審 議 案 件		総件数 10件	（ 備 考 ） ○工事・建設コンサルタント業務等の発注件数、入札結果の状況、指名停止等の運用状況及び談合情報の報告を行った。
工 事	一般競争 （政府調達）	1件	
	一般競争 （政府調達以外）	3件	
	工事希望型競争	0件	
	指名競争	1件	
	随意契約	1件	
建設コンサルタント業務等		3件	
物品・役務等		1件	
委員からの意見・ 質問、それに対する 説明・回答		意見・質問	説 明 ・ 回 答
		別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による 意見の具申又は 勧告の内容		特になし	

○問い合わせ先

さいたま市中央区新都心2番地1

さいたま新都心合同庁舎2号館 電話 048-601-3151（代）

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会事務局

入札契約監査官	掛巢 十志充	（内線2220）
契約管理官	佐野 幸雄	（内線2222）
技術開発調整官	宮坂 広志	（内線3113）
主任監査官	田中 聡	（内線2114）

公表資料	
意見・質問	説明・回答
〔報告事項〕 1. 発注一覧 ・ 特になし 2. 入札結果の事後的・統計的分析について ・ 不調・不落について、昨年度同時期と比べると、少なくなっている。様々な取り組みを行っていると思われるが、何か特徴的な取り組みというものはあるのか。 ・ 入札参加者がいる案件でも入札不調として計上されているが、“参加者がいないこと”以外にどのようなケースがあるのか。 ・ 応札率がばらつく工事と、高い応札率でかたまる工事がある。考えられる理由について教えていただきたい。 3. 指名停止等の運用状況 ・ 特になし 4. 入札談合に関する情報等への対応状況 ・ 特になし 〔抽出案件の説明及び審議〕 1. 一般競争入札方式（政府調達） 【R6久慈川左岸堅磐地先築堤工事】一般土木 ・ 予定価格を超過した応札者を含めて、入札参加者の応札率にばらつきがある。先ほど、応札率に差が生じる理由についての説明を受けましたが、実際に応札者にヒアリングしてみても良いと感じました。	・ 1者応札対策にも共通するものとなりますが、入札参加要件の緩和、余裕期間制度、国債を活用した施工時期の平準化、また、予定価格を作成する際の見積活用や事業者へのヒアリングなども継続的に取り組んでいます。 ・ 入札不調は、入札参加者がいない場合のほか、調査基準価格を下回った入札により、施工体制の審査に必要な追加資料の提出が無いことなどにより無効となり、有効な入札がない場合なども、今回の報告では不調として整理しております。 ・ 一概に理由と言えるものではありませんが、高い応札率となる工事については、現場条件等により、現場管理費などの間接工事費を下げるできないなどがその要因の1つとして推測されます。また、予定価格は、当該工事の標準的な仕様にに基づき施工した場合に必要な費用について、歩掛調査や労務費調査等の結果などを踏まえて算定したものであり、これに対して入札価格は、人材や資材の確保状況、手持ち機械の融通等の事情を踏まえて、各入札参加者が算定したものとなりますので、それにより応札率に差が付くと考えられます。

意見・質問	説明・回答
・入札者は、技術提案等の評価点を知った状態で入札をするのか。 ・点数を知った状態であると、高い点数の者は予定価格ギリギリでもよくて、低い点数の者はすごく低く入札しなくてはいけなくなる。今回もう1社、高得点の者がいたが、入札額が低入札ギリギリで下回ったことより無効になっている。もし無効になっていなかったら落札率の高い業者に勝っていたと感じました。 ・評価点30点差というのは、金額でいうとどのくらいの差になるのか。 ・なかなか明確な答えはないと思うが、点数をどのくらいのお金に換算することが適切なのかと思いました。 ・実績と検証を重ねていって適切な点数の配分を考えていくというのをPCDAサイクルで回してもらうということと思う。 2. 一般競争入札方式（政府調達以外） 【R6広河内工事用道路工事】一般土木 ・自治体実績チャレンジ型を活用する等の取組により参加者を広く募っていると理解した。それでも1者のみだったことについて、今後同様な工事を発注する際の取組はどのように考えているか。 ・本工事の公告から入札までの期間はどのくらいか。現地への下見を考慮すると、入札までそれなりの期間が必要ではないか。 ・今回の応募期間は10日間ということで標準以上の期間は確保されているが、この応募期間が一者応札になった一つの要因かとも考えられる。補正予算ということで、手続き期間に限りがあり、難しいかもしれないが、このような入札参加者が少ないと想定される案件については、例えば、1か月程度とれば良いのではと思う。 いずれにしても、できるだけ長くっていただくことをお願いしたい。 3. 一般競争入札方式（政府調達以外） 【R6国道19号安曇野市明科電線共同溝工事】 アスファルト舗装	・入札者は、入札時には自身の評価点も他社の評価点も知り得ません。 ・評価点30点差だと、金額換算すると当該工事では約2億8千万程度となり、そのぐらいの金額差をつけないと評価点の差を覆すことは出来ないです。 ・業界団体との意見交換を通じて、特に本件のような山間僻地の工事に対する考えを把握するとともに、当事務所の取組について丁寧に周知して参りたいと考えております。 ・補正予算の成立を受けて、発注した事案であり、公告は1月20日で競争参加資格申請書の提出期限が1月30日であった。標準的な期間は確保しているが、特にこういった山間僻地での工事については、委員のご指摘を踏まえ、業界団体との意見交換を通じて確認をしていきたいと思います。

意見・質問	説明・回答
・得点配分選択表の評価項目等が事前に業者に伝わっているのか。 辞退した業者の結果を見ると、若手技術者の活用について、他の業者から6点ほど差がついている。評価項目等が伝わっていれば、若手技術者について高く評価する方針は理解できると思うが、それによってかなり影響があると思われるためお聞きしたい。 ・業者としては、この工事が若手技術者の配置について、「比重が高いことを認識していた」という事が分かった。 【審議案件総括】 ・委員の皆さんの間で活発な議論が行われたが、いずれも貴重なご意見だと思う。参考に工夫を検討し、建設的な議論を重ね、見直しを進めていっていただきたい。 4. 一般競争入札方式（政府調達以外） 【法務省浦安総合センターA館他（24）建築改修工事】 建築 ・入札参加5社中、予定価格内の者は1社のみであった。残り4社は予定価格を超過しているので、予定価格の設定に無理があったのではないかと。現在の物価高騰も要因にあると思われるが、発注者側の内容の示し方にも無理があったのではないかと。 ・建物屋上に飾り屋根があるとの説明があったが、そのような特殊な屋根があるならば、技術的なものを含め、丁寧に示してしまうのもあるかと思う。大企業は独自に技術力を持っているが、中小企業になると技術力や得意分野に偏りがあると思う。日本企業の技術力を押し上げようとするのが国の役割であるならば、技術力を支えるような出し方もあるように思う。 ・建物屋上の飾り屋根の取り扱いについて、事業者認識の差があったことを事後確認したのか。また、認識に差があるならば、入札の過程で反映できないのか。 ・内容は理解するが、4/5社が予定価格を超過していることを重く受け止めるべきではないか。発注する際は内容の示し方などを考えてもよいかと思う。	・公告の時点で公表しているため、業者はあらかじめ分かっている状況です。その上で、応募者の方々がどのような配置技術者を選定されるかは、社内事情やそのときのタイミングで変わるため、我々は応募されたものに基づき評価をし、配点に基づき点数をつけています。 ・4社が予定価格を超過していますが1社は予定価格内でした。ご指摘のとおり物価が高騰している状況でもあり、高い金額で入札してくる可能性もありますので今後検討していきたいと思います。 ・建物屋上に飾り屋根が設置していることは、条件明示し、工事発注しており、この条件で見積もりを収集し予定価格を作成しています。また、入札時に応札者から提出された工事費内訳書を見れば、どこの箇所が予定価格より高いのかが分かり、本工事は屋上防水改修箇所が予定価格に対して高い金額でしたので、事業者はこの部分がこちらの考えよりも”もっと手間がかかるだろう”と考えたと推測されますが、事業者には確認していません。ただ、予定価格で落札している事業者もいることから、適正な価格を算出しているものと考えています。

意見・質問	説明・回答
・受注側と発注側とで”コストがかかる部分”の理解にずれが生じていると思われる。そのずれの原因を検討することもある有効だが、企業に率直に聞いて共有を図るのも一つの考え方である。ご検討いただければと思う。 5. 一般競争入札方式（政府調達以外） 【R6下館河川事務所空調設備改修工事】暖冷房衛生設備 ・過去の応募実績を検証し「公募型指名競争」としたと思うが、結果的に応募期間が短くて事業者も苦慮するうえ、手続きが複雑になって発注者にも負担がかかると思われる。入札参加資格を工夫し、一般競争入札方式に変更はできないか。 ・仮に応募期間を長くしても参加者があまり増えそうにないといった事情があるということか。 6. 随意契約 【R6国道4号毛長堀橋耐震補強他工事】橋梁補修 ・特になし 【審議案件総括】 ・予定価超過が多い等の入札結果となった場合には、事業者とのヒアリング等をしていただき、どのような背景があったのかを追加で事後的に検証し、今後の発注に繋げていただきたい。 7. 簡易公募競争方式（総合評価） 【R6国道6号外道路構造物詳細設計他業務】 土木コンサル ・どういったところに参加者が集まらなかった原因があると思うか。	・過去の実績から入札者数が少ないことが懸念され、また技術的にもあまり高度でもないため、公募型指名競争とした方が、参加者がより多くなるかと類推し、この方式を選定したものです。以上の理由から、過去の案件でも「公募型」で発注しており、さらに応募者が少ないようであれば、検討の余地もあると思いますが、現状では事務所として最適であると考えています。 ・工事内容から準備期間はさほど必要ないと考えています。 ・推測になりますが、3点あると考えています。 1点目は、公示した時期で、11月に公示をしたことで、各コンサルタント業者が、その時に他の業務を抱えていたため参加を見合わせたのではないかと推測しています。 2点目は、10月に一度公告をして不調になり、要件を緩和して再公告を11月に行った案件なので、少し厳しめで、参加人数が少なかったということが事実としてありました。 3点目は、国道6号の現道に共同溝がありその一部を動かす設計業務であるため、既に埋設されている物件を考慮しながらの設計となります。交通量も多く、その切り回しをしながらの計画となるため、敬遠されたのではないかと推測しています。

意見・質問	説明・回答
・総合評価1対1で、比較的、価格にウエイトが置かれている入札方式であったが、結果として技術点49点、価格点1点、総合で50点となっており、1者しかいなかった為、競争が全く無く、価格の評価点が低いという感想を持っている。技術点は良くわからないが、総合評価方式ではなく価格競争方式にすることは出来ないのか。 ・資料を見ると”設計済”と”今回設計”の記載があるが、今回の受注者は、前に発注した設計済の箇所と同じ事業者になのか。	・価格競争は単純な業務、定型的なもの、例えば観測などといったものに適用されると理解しています。この業務は交通量の多い現道における地下構造物の改良工事になるので、施工計画等に一定の技術は必要と考えています。ただし何が埋まっているかという調査は行っていて明示できるうえ、構造物自体、それほど難しい構造ではないというところから1対1の総合評価方式を適用したところ です。 落札率が高いという点については、一度、「不調になって再公告」ということもあり、「次も参加者が少ないのではないか」という推測が働き、高い入札をしたのではないかと推測しています。 ・違う受注者です。
8. 簡易公募型プロポーザル方式 【R6入間川流域緊急治水対策プロジェクト事業監理等業務】土木コンサル ・この事案も1者応札で選定理由が社団法人との契約というものだが、これは初めての契約だったのか。いつもこの事業者が受注しているのか。 ・1者応札を避けようとする と技術者を貼り付けなくても済むような発注方式にしなければならないが、可能か。	・去年もこの事業監理等業務を出しており、同じ者が契約の相手方でした。今回、業務の発注にあたり入札公告をダウンロードした者が落札者を含め24者おり、いくつかに競争に参加しなかった理由を聞いたところ、「技術者を確保できなかった」という意見を多くの者からいただいている。この業務の特徴としては主任技術者、担当技術者のどちらかが「事務所に常駐しなければならない」という縛りがあり、そのあたりが1者応札になってしまった要因 と思っております。 ・そのあたりは色々工夫の余地はあると思っており、例えば「主任技術者、担当技術者のどちらか1人は常駐という条件を外す」など、今は離れていてもWeb会議でできますので、その点を検討してみたいと思っています。
9. 簡易公募型プロポーザル方式 【R6・R7国道15号品川駅西口基盤整備建築実施設計業務】建築コンサル ・特になし 【審議案件総括】 ・発注方式は色々なやり方があるが、1者応札がどうしても増えてしまうのは、昨今仕方がない面もある。しかし、競争が働くには、実は「2社どころか3社でも十分でなく、できれば4社ぐらい必要だ」という研究報告がある。そのようなことを考えると、多くの方に参加していただくための発注上の工夫、周知というのは引き続き大事になってくると思う。何故1者になってしまったのか、あるいは発注方法等で工夫できる余地はないのか、ということを引き続き追及していただきたい。	

意見・質問	説明・回答
10. 企画競争方式 【R6道路の防災・減災、国土強靱化に関する広報業務】役務の提供等 ・ 今回の案件は参加者が1者の契約であるが、評価表を見ると、必ずしも良い点数とは言えないのではないかな。良い成果を出していくためにも、例えば「評価点が60%を満たない場合」などには、入札ではなく、それ相応の技術力のある者と直接契約するなどに変えてしまっても良いのではないかなという意見を持った。 ・ 事業者によるその最大限の能力を発揮させるには、代替的な選択が可能であることをみせなければいけないというご指摘かと思う。それこそが競争であり、このご指摘を受けて、検討していただければと思う。 ・ 事業の内容で効果測定やWebアンケートなどの報告書があるが、それがこの広報の効果測定という意味であれば、費用対効果などを踏まえ、その結果を今後に生かせないかと考えた。国民の視点で一番効率的な方法を選んでいただけたらと思った。 ・ アンケートの使い方は色々あって閲覧数やレスなど、仕事自体がヒットしているかどうかの効果を図ることもできると思う。 ・ 会場に来られた方やオンラインで見られた方に対し、どの媒体でこの会議などを知ったかということをアンケートで聞けば、広告の効果を見ることができる可能性もあるだろう。 【全体を通して】 ・ 入札後の事情など、その後どうであったかという実態を入札手続きの公正性や事後の検証につかうことも如何か。「法務省浦安総合センターA館他（24）建築改修工事」では4／5社が予定価格超過したという案件で、その工事を実施してみて、結局、設計変更などにより予定価格は超過するものだったということになった場合、その段階で情報の提供の仕方など改良する余地があったのではないかなということにもつながると思った。成果物を効果測定に使うご意見があったので意見として申し上げた。	・ 今般のアンケートは広報の良し悪しというよりも、実施した座談会の内容について、どう感じたかなどを確認するものとなっており、業務の手続きとして使える部分は薄いように思っております。 ・ 今回、本業務を「新聞」という媒体に縛って出しているが、新聞を読んでいる世代もいる中で、幅広い世代に浸透する広報を今後やっていかなければならないと考えています。今回のアンケートは実施した座談会がどう受け止められたのかというものだったが、委員のご意見を踏まえて考えていきたいと思います。

意見・質問	説明・回答
・予想と違う結果が出てしまった時の検証というのは、やはり重要なことかと思う。我々が知らない事情があるかもしれないし、相手が知らなかっただけかもしれない。ただ単にコミュニケーションの問題で、異なる結果が出たということもあるかと思うので、そういった原因を探っていくことによって、より適切な入札・発注が可能になっていくという指摘かと思う。引き続き検討していただければと思う。 ・そのような検証は、委員の皆で「わからないことを考える」という柔らかな議論の場があるといいのではと思った。 ・研修の一環としても良いかもしれないし、様々な場で広い視野で考え直す場というものがあっても良いかと思います。 ・特段の意見具申はなし。	

【工事】

入札方式	工 事 名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位: %)	備考
一般競争 (WTO)	R 6 久慈川左岸堅磐地先築堤工事	一般土木	16	14	令和7年2月17日	五洋建設 (株)	2, 046, 000	98. 17%	
一般競争	R 6 広河内工事用道路工事	一般土木	1	1	令和7年3月11日	湯澤工業 (株)	198, 000	98. 08%	
一般競争	R 6 国道 1 9 号安曇野市明科電線 共同溝工事	アスファルト舗装	3	2	令和6年10月21日	福田道路 (株)	257, 400	99. 45%	
一般競争	法務省浦安総合センター A 館他 (2 4) 建築改修工事	建築	5	5	令和6年12月11日	名工建設 (株)	349, 800	98. 03%	

入札方式	工 事 名	工事種別	指名業者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位: %)	備考
指名競争	R 6 下館河川事務所空調設備改修 工事	暖冷房衛生設備	2	2	令和7年1月15日	関彰エンジニアリング (株)	79, 750	99. 56%	

入札方式	工 事 名	工事種別			契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位: %)	備考
随意契約	R 6 国道 4 号毛長堀橋耐震補強他 工事	橋梁補修			令和6年10月25日	オリエンタル白石 (株)	298, 100	99. 99%	

【コンサル】

入札方式	業 務 名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単 位: %)	備考
簡易公募型競争 (総合評価)	R 6 国道 6 号外道路構造物詳細設 計他業務	土木コンサル	1	1	令和7年1月15日	いであ (株)	38, 500	98. 29%	

入札方式	業 務 名	業種区分	手続への参加資格及び業 務実施上の条件を満たす 参加表明書の提出者数	技術提案書の 提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位: %)	備考
簡易公募型プロポーザル	R 6 入間川流域緊急治水対策プロ ジェクト事業監理等業務	土木コンサル	1	1	令和7年3月25日	(一社) 関東地域づくり協会	51, 381	100. 00%	
簡易公募型プロポーザル	R 6 ・ R 7 国道 1 5 号品川駅西口 基盤整備建築実施設計業務	建築コンサル	1	1	令和7年1月23日	(株) オリエンタルコンサルタ ンツ	150, 700	100. 00%	

【物品・役務等】

入札方式	業 務 名	業務分類	企画提案書の提出者数	企画競争参加資格 要件を満たす企画 提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位: %)	備考
企画競争	R 6 道路の防災・減災、国土強靱 化に関する広報業務	役務の提供等	1	1	令和6年12月18日	(株) 電通東日本	21, 989	100. 00%	